

3-6 大窪 麻紀

『 国際理解(見えないものを見る) ~経済格差から考えてみよう!~ 』

学校名・名前 : 百合学院中学・高等学校 ・ 大窪 麻紀
実践教科 : 総合的な学習、国語科
指導時数 : 10時間(パーム油に関する外部講師の授業を含む)
対象学年・人数 : 高校2年生100名、中学2年生20名

1. カリキュラム

(1) 実践の目的

わが校はカトリックの女子校で、毎月アフリカの「シエラレオネ」に10円募金をしている。「シエラレオネ」は2002年に内戦が終わり、2007年8月には選挙が行われ自立しつつあるいわゆる「開発途上国」である。募金で集まったお金は現地にいるシスターに送られ、教育のために使われている。3月に実際に行き、そこで見た状況や子どもたちの屈託ない笑顔を生徒に伝えた。反響は大きく、生徒たちは自分たちのお金が一時的な援助でなく、「教育」という自立支援に使われている意味を考えてくれた。また、同時に平均寿命が世界一短い41歳という現状から考えても「シエラレオネ」が多くの問題を抱えていることにも気づき、何が必要なのかを考えたようである。

まずは「知る」ということ、そして知ったうえでその国に対して、中学・高校生である自分たちに何ができるかを自分たちなりに考え、実際、品質がよく手ごろな価格の文房具(シエラレオネは高価で質が悪い)を集めたり、手作りハンドタオルを作ったりし、子どもたちに送っている。募金以外にもできることがあることを知り、実際に手助けができることに喜びを感じているようである。今回訪れた「インドネシア共和国」は、援助は受けているがその援助額も減少しつつある、いわゆる「新興国」であり、「シエラレオネ」とは違う意味で多くの問題を抱えている。それを総合学習のテーマが「環境」である中学2年生と、テーマが「国際理解」である高校2年生で「パーム油」の話を中心に置き、考えてもらいたいと思い授業実践をした。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目 (国際理解学習の導入) 【開発途上国・新興国・先進国を知ろう!】 ・それぞれの国の特徴をつかむ。	・募金支援を通して自分たちになじみのある国シエラレオネと新興国、日本をユニセフの資料で比べ、何が言えるかを考える。 ・実際に開発途上国であるシエラレオネ、新興国であるインドネシアの写真を見せ、その現状を知る。	ワークシート、 お金、楽器、写真、 地図、教科書、 HALALマーク、 パーム油使用のお菓子
2・3時限目 (世界のつながりを考える) 【貿易ゲームをしよう!】 ・世界は経済の面はもちろん、環境などの面でもつながりのあることを知る。	・資料の揃っている国(A~F)を挙げ、それぞれグループになり、与えられた条件でお金を稼いでいく。 ・人口、資源、技術、資金などそれぞれ自分の国を把握し、何ができるかを考えると同時に他国とのつながりを捉える。	ワークシート ゲームに必要なもの

<p>4時限目(ふりかえり)</p> <p>【貿易ゲームから考えたことを発表して深めよう！】</p> <p>・自分たちだけ幸せになることを考えては「国際理解」はできないことに気づく。</p>	<p>・個人で書いた感想を貿易ゲームのグループで出し合い、まとめる。</p> <p>・グループの意見として全体で発表し、それぞれの立場での意見を知ることによって他国のことを知る。</p>	<p>ワークシート</p>
<p>5時限目</p> <p>(経済格差から生じる環境問題)</p> <p>【日本も昔はこうだった！】</p> <p>・日本も戦後は他国からの援助で支えられていたことを知る。</p> <p>・開発が優先され、環境問題にまで目が向かなかった現状を捉える(環境問題が注目されたのは最近)。</p>	<p>・戦後日本が世界銀行から援助を受けてつくられたものを具体的に挙げる。</p> <p>・環境問題が後回しになったために生じた公害、公害病を捉える。</p> <p>・インドネシアの主な環境問題を3つ挙げ、写真を見ながら現状を捉える。</p> <p>・インドネシアでも環境に取り組み出した地域(パハラ)の話をする。</p>	<p>ワークシート 写真</p>
<p>6・7時限目</p> <p>(経済格差から生じる環境問題)</p> <p>【世界はつながっている！】</p> <p>・なぜ開発途上国はそのような現状なのか、考える。</p> <p>・つながっているからこそ、開発途上国が抱えている問題を捉える。</p> <p>・先進国の国民である私たちがなすべきことを考える。</p>	<p>・「エビ物語」から先進国の消費のために、開発途上国にどのような影響が出ているかを考え、さらに地球資源にもかかわってくることを知る。</p>	<p>レジュメ ビデオ「エビ物語」</p>
<p>8時限目</p> <p>(経済格差から生じる環境問題)</p> <p>【ボルネオゾウ、大河を渡る】</p> <p>・ボルネオゾウがマレーシアの大河を渡っている話から、その原因となるアブラヤシのプランテーションの存在を知る。</p> <p>・アブラヤシからとれるパーム油が日本でもさまざまなものに使われ、「自然や人体にやさしい」と需要が高まっていることを知る。</p> <p>・先進国の消費のために開発途上国の森林破壊が進んでいる現状を捉える。</p>	<p>・「AERA」の記事「ボルネオゾウ、大河を渡るー自然にやさしいの逆説」を読み、現状を知る(マレーシアの話だがインドネシアも同様であることを指摘)。</p> <p>・ワークシートで「パーム油」のもたらす「問題点」と「よい点」を挙げる。</p> <p>・環境破壊が叫ばれているにもかかわらず現状がそのままであるのかをサイクルにして考えてみる。</p>	<p>記事 ワークシート</p>
<p>9・10時限目(荒川共生氏による出張授業)</p> <p>【見えない油、パーム油はどこから来ている？】</p> <p>・消費者、生産者、企業の販売者、原住民、ゾウを助ける人、それぞれの立場の主張を知る。</p> <p>・お互いがよい方向に進むにはどのような策があるか、考える。</p> <p>・「消費しない」など消極的な策以外に現実に見合った「私たちにできること」を考える。</p>	<p>・一枚の写真から何がうかがわれるか、想像力を働かせ、それぞれに意見を出し合い、写真が訴えること(見えない部分)をつかむ。</p> <p>・映像から、大規模なプランテーション開発によって棲みかを失ったゾウが危険を冒して河を渡る実態を知る。</p> <p>・具体的な企業「サラヤ」とJICAの専門家の呼びかけで始まった「ボルネオ保全基金」の取り組みの記事から私たち消費者ができることを考える。</p>	<p>荒川氏(P4 参照) 持参(写真、記事)</p>

2. 授業の詳細

1時限目 (国際理解学習の導入) 【開発途上国・新興国・先進国を知ろう!】

ワークシート(一部抜粋)

	5歳未満児死亡率	1人あたりGNP	出生時の平均寿命	初等教育就学率
シエラレオネ	283 (世界1)	200	41	41
日本	4	37180	82	100
南アジア	92	600	63	74

* ユニセフ子ども白書2004年より

- ・「5歳未満児死亡率」は出生1000人あたりの死亡率
- ・「1人あたりGNP」は国民総所得 米ドル換算値

*シエラレオネ(開発途上国)



子どもたちは穀物を 挽いて食事の準備

シエラレオネでは共同のかまどで食事の準備をするのが普通であり1日2回が一般的。子どもは多いが、5人に3人は5歳になるまでに亡くなってしまう。



みんなで分け合っ ての食事

シエラレオネの子どもたちは一つの飴も歯で割って分け合う。一日の終わりには生きられたことに感謝して歌を歌う。物ではない、心の豊かさを感じる。



一般的な家屋

電気も通っていないので、昼間でも家の中は暗い。みんな外に出ている。一軒の家に子どもが7人~8人いるのが普通。しかしけんかはほとんどないようだ。

*インドネシア(新興国)



学校のトイレ

前にある「水がめ」の水で流す。その意味では水洗トイレ。紙はなく、左手で洗う(?)。イスラム教では左手は「不浄の手」なので、決して人に物を渡したり、握手したりするときには用いない。



一般家庭で交流

頭には新聞紙で作った「かぶと」。手にしているのは習字で書いた自分の名前。子どもたちは何にも興味を示してくれました。後ろのお母さんは浴衣を気に入り、暑い中でも着てくれた。



一般的な家屋

家族のつながりが深く、親戚が近くに住んでいることが多い。日本人である私たちにとても親切にしてくれ、交流の場では「お客さん」として扱ってくれた。



イスラム教の女の子たちと普通の公立の学校の様子

「南中ソーラン」を出し物としみんなで披露したら、歓迎のゲームなどしてくれた。どこの国でも同じ中学生だと感じた一時。



学校にある「モスク」

イスラム教のお祈りの場である「モスク」どこの学校でもたいてい見られる。神聖な場であるので、ここに入る前には手や足を洗う。洗場がちゃんと横にある。

【実際の授業風景】

どう？似合ってる？



- 頭 イスラム教徒(インドネシアでは90%)の女性が、髪を隠すためにかぶるジルバブ
- 左手 HALALマーク(イスラム圏で問題がない食材であるという証明。豚肉エキスなども含んでいないことを示す)のついたお菓子
- 右手 インドネシアの露店で買い求めた「団扇」
しっかり編みこまれている

お菓子の味見もしました！



お菓子の袋には、後から出てくる「パーム油」の表示もされていた。日本ではほとんど「植物性油脂」としか記載されていないので、見方によっては(宗教的なこともあり)インドネシアの方が意識が高いように感じる。

HALALマークの説明や文化について聞きました。



インドネシアの旗や地図、お金を持って「チーズ！」



インドネシア国旗

赤 勇気

白 「潔白」を表し、「潔白の上に立つ勇気」の意味。

＊まとめ

(実際に配布したワークシートを一部抜粋。生徒配布の分は括弧は空欄)

・世界の経済格差・生活格差を考える

ア 開発途上国は識字率・就学率が(低い)

特に女性は教育を受ける権利を奪われてきた
(今日でもそのような状態である国も多い)

イ 文字の読み書きに不自由を感じている(非識字)
成人が多ければ多いほど全般的に「5歳未満児死亡率」が(高く)なる

女性の識字率や就学率と乳幼児死亡率との間には強い相関関係がある！

女性に対する人権としての教育が保障されるかどうか、家族の健康管理、特に抵抗力の弱い乳幼児の生存に深く関係している。

ユネスコ「学習権宣言」より

学習権は人間の生存にとって、不可欠な手段である。

もし、女性も男性も、より健康な生活を営もうとするなら、学習権をもたなければならない。

【感想・反省】

生徒の感想を書く時間がとれず、聞けなかったのが反省点。生徒たちは実際に「もの」を手に取り、文化の違いを知り、楽しんでいただろう。特にカトリックの学校であるわが校の生徒の中には、イスラム教に興味を抱いている子も多いようだった。「左手は不浄の手であり、それで子どもの頭をなでて、裁判になったこともある」という話や「一日に何度もモスクでお祈りをする」という言葉には生活に浸透する宗教の深さを感じ取っていた。

また、実際のお金を手にし、スーパーの品物の値段の話や、物価の違いに驚いていた。(物価は安い、先生の給料の安さも指摘)。学校の中に「大統領」「副大統領」の写真がどの教室にもあったこと、「旗」がどこでも(道端でも)売っていること、アンケートで、中学生でも愛国心が強いことなどを言うと「自分たちはどうだろうか」ということを考え、自分たちのことを振り返っていたようだった。

2・3時限目(世界のつながりを考える)

【貿易ゲームをしよう!】

ワークシート

総合的な学習「百合学院的人間学のススメ」
高校2年生 テーマ「国際理解～経済格差～」
貿易ゲーム LHR2
2年()組()番()

貿易ゲームを終えて

1 あなたはどこのグループに所属していましたか
()チーム 国名()

2 ゲームをしていてどのような感情をもちましたか？

3 このゲームの課題「できるだけ多くの富を築く」ために、あなたまたはあなたのグループの人はどのような行動をとりましたか？

4 他のグループの人の意見をきいて、その気持ちを想像してみましょう。

先進国
新興国
発展途上国

5 今回のゲームの中で見ながら、世界における貧富の差についてどのようなことを考えますか？

6 次の絵を見て気づいたことを書きましょう

ワークシート

総合的な学習「百合学院的人間学のススメ」
高校2年生 テーマ「国際理解～経済格差～」
貿易ゲーム LHR3
2年()組()番()



7 もう一度貿易ゲームをするとして、今度はお互いが富を得られるように考え、公正な立場で貿易をしていくためにはどのようなことが必要だと考えますか？

8 今日の感想をまとめましょう。

【生徒の記入したプリントから】

(A子さん)

1 Bチーム アメリカ

- 生産をいっぱいして、資産を増やすことでいっぱいだった。
- みんな生産をたくさんして、富を築くため、神経質になり、必死になっていた。道具を借りにきた人にすごくケチになっていた。
- 先進国** ある道具は、ラッキーだと思い、自己中心的で心貧しく性格が悪くなっていた。

新興国 もともと仕事もなく、何もすることがないからヒマそう。

開発途上国 道具がなく、資源はあるけれど仕事がない。しかし、心に余裕があり、豊か。

- 物や資源、道具があるか、技術がどれほどあるか、仕事があるかなど、話を聞いて頭で理解するよりも実際に自分たちがその国の立場になることで、どれだけ先進国が便利か、開発途上国が不便か、解決の難しい貧富の差を体験した。

- 先進国** タバコをふかしている、太い(白人)
(前の人)余裕の表情

豊かになると働かない

こいでないのにハンドルをにぎる

公害・環境問題(タバコ)

開発途上国 ガリガリ、細い(黒人)

(後ろの人)細いのに重労働(苦しう)

服も靴もない

後ろにいたので前が見えない

前がこがないので働かざるをえない

どっちも幸せに向いているのは同じ！

- 自分の国だけでなく、周りを見なくてはいけない。貿易を通してお互いが平等になるように情報や物を正しく交換することが必要。
- 私のチームは道具も紙も十分なくらいにあったけれど、自分たちのこと(資産を増やす・大量生産)で頭がいっぱいになって、ウガンダチームが紙(資源)しかないことを終わってから聞いて本当にびっくりした。前の席(銀行の近く)であったこともあって、後ろのことが何も見えなくなり、性格がゆがんでケチになっているのが自分でもわかった。ウガンダチームは仕事してもらえた富で、やりがいや達成感を味わっていたようだった。心が豊かだと思った。

(B子さん)

1 Dチーム ブラジル

- 最初、「こんなんでできるわけないやん！何でも揃っているチームはずるい」と思った。
- いろいろな工夫をして早く行動した。最初から入っているもので役割分担した。
- 先進国** 自己中心的 周りがみえない。
新興国 周りの国々はけちだと思っている。
開発途上国 少しもうかっただけで嬉しい。
- 資源をむだにはしてはいけないと思った。先進国と開発途上国ではこんなに違うのかと思った。さまざまな貿易でひとつの物を得ることが分かったと前向きになれる。
- 前的人是こいでないのにハンドルをにぎっていて、後ろの人は裸足でこいでいて、栄養失調であり、体力がない。
- 貧富の差をうめていくには、先進国には後ろの席(新興国・開発途上国)のことが見えていないから、お互いを意識して助け合っていくことが大切で必要だと思う。
- 国々の差があまりに激しいことにおどろいた。公平な貿易をしていくことで差が小さくなり、平等に近づいていくのではないかなと思った。もっと国と国とが助け合っていくべきだと思った。

(C子さん)

1 銀行

- 銀行をしていて、アメリカのチームはいろいろ道具も持っていて楽そうだったけど、ウガンダやタンザニアの人は製品をつくるのにとっても大変そうだった。
- 先進国** あって当たり前だと思っている。自分中心でまわりが見えていない。
新興国 仕事がない。銀行はずるい。
開発途上国 心が広い！もうかるとうれしい
- 先進国は全部そろっているので生産量も多いが、開発途上国は生産量も少なく、形がずれていたりして、なかなかお金にならなかった。
- ・豊かな方が働かない 前の人がかげばよい
・前だけ服を着て、後ろは素足。
・後ろがこぐのをやめたら自転車はこける。
・(前を見ている姿勢から)思いは一緒。
- みんなで助け合い、同盟を組んだりしたら良いと思う。周りをみなければいけない。
- 何も考えないで生産品を良いか悪いかで判断しお金に換えていたが、客観的にみると先進国の人には生産品を次々持ってきてたけど、開発途上国の人にはあまり持ってきてなかった。

4時限目(ふりかえり)

【貿易ゲームから考えたことを発表して深めよう!】

5時限目(経済格差から生じる環境問題)

【日本も昔はこうだった!】

世界銀行の支援でつくられた(開始された)もの・こと

1 学校の給食

「コッペパン」や「脱脂粉乳」の話が出ると聞いたことのある生徒が反応した。



2 1961年 愛知用水が引かれる。

戦後、吉田茂が世界銀行と協力し、アメリカ合衆国の技術と機械を用いわずに5年で完成。



3 黒部ダム

7年の月日を造られた世界有数のアーチ式ドーム



4 東海道新幹線開通

昔は東京 新大阪がひかりで4時間、こだまで5時間かかっていた。



5 1966年東名高速道路開通

東京 静岡間の高速道路の供与を最後に日本は世界銀行からの借りを終えた。



*これらの写真をパワーポイントで見た後、次のプリントをうめた。

ワークシート

総合的な学習「百合学院的人間学のススメ」
高校2年生 テーマ「国際理解～経済格差～」
貿易ゲーム LHR4
2年()組()番()

最後にこの図をみて話し合いをしました。
その中でいろいろな意見が出ました。
・前の人(先進国)は後ろの人(途上国)に支えられている。支えがなくなると共倒れ。
・前に乗っている人は後ろの人が見えていない。
・ハンドルは前の人握っている。

そういった状況を見ると先進国が途上国の気持ちを理解していないということが良くわかったと思います。感想の中にも、前の人をもっと後ろの人のことを思いやるべきだという意見がたくさん出されていました。

日本は今では先進国といわれています。しかし、かつて日本は途上国でした。**日本も海外からの援助によって助けられていたのです。**

たとえば、第二次世界大戦終了後、世界銀行から多くの融資を得てできたものがあります。

世界銀行とは戦災国の復興と開発途上国の開発を援助する銀行です。世界192カ国が加盟しており、その資金をもとに途上国へ援助しています。この援助もあり、日本は高度経済成長をとげました。日本は高度成長期を経て大きく発展しました。生活もずいぶん変わり、物があふれて豊かで便利になりました。
(生徒の感想から)

貿易ゲームでは自分たちが実際その国の国民になることで見えるものが見えなくなりました。道具がたくさんあり、有利な先進国は自分たちのことばかりになり、道具がゼロに近い開発途上国はそんな先進国に怒りを感じていました。しかし、大量生産をしている先進国に比べて数個しか作れていないのに心の豊かさがあふれていまし

ワークシート

総合的な学習「百合学院的人間学のススメ」
高校2年生 テーマ「国際理解～経済格差～」
貿易ゲーム LHR5
2年()組()番()

しかし、経済の成長や物の豊かさを求めるあまり「排水や排気ガス」など環境に悪い影響を与えるものに対する対策が十分行われず、私たちの健康に大きな影響を与えるようになってしまいました。

こうした経済成長の陰で、環境破壊が起こり、**(水俣病)(イタイイタイ病)(四日市ぜんそく)**といった公害病が発生、大量生産の裏返しとしての**ゴミ問題などの公害の問題が、高度経済成長期後半になると深刻化しました。**これは、**国民が環境よりも経済成長を優先した結果であるといえます。**

以前の授業でやったシエラレオネのような途上国はまだまだゴミ問題までは及んでいません。今現在新興国(貿易ゲームの中ではインドやブラジル)のゴミや公害問題は深刻です。日本はそのような国に対して今までの日本の反省も踏まえた上で、援助していく必要があります。その援助は本当に行き届いているのでしょうか？

新興国のひとつインドネシアの状況を見てみましょう。



大気汚染



悪臭



水質汚染



土壌汚染

ワークシート

総合的な学習「百合学院の人間学のススメ」
高校2年生 テーマ「国際理解～経済格差～」
貿易ゲーム LHR6
2年()組()番()

インドネシアの環境問題

- (大気汚染)
- (森林破壊)
- (生物種の減少)

などがあげられます。森林破壊の中には「**エビの養殖によるマングローブ林の破壊**」の問題などもあります。エビを日本人が食べなければ仕事はなくなります。ある意味で日本人は経済的にインドネシアを支えているともいえるでしょう。しかしそれは同時に環境汚染も招いています。

もうひとつの問題にも目を向けてみましょう。「**環境にやさしい**」といわれる**パーム油**の話です。日本の製品の中にはこのパーム油を用いたものが多く存在します。パーム油を使って作った石鹸には「植物性なので使用後は微生物によって分解。完全に水に溶けるので**地球にもやさしい石けん**です」と書かれてあります。では本当に環境にやさしいのでしょうか？

先日の朝の評論の時間に読んだ「ボルネオゾウ大河を渡る」のプリントをみましょう。
2ページ「自然派オイルが人気で」をみましょう。

(**ボルネオゾウ**)が大河を渡り始めた
(移動をはじめた)
なぜか？その答えは
(**アブラヤシ** の **プランテーション**)による
ここからとれるもの
(**パームオイル**)
これはさまざまな商品に使われています
シャンプー・洗剤・カップめん・冷凍レトルト
食品・化粧品など
3ページ「森が小さくなる」をみましょう。

このパームオイルをとるために
(**熱帯雨林**)

(**アブラヤシプランテーション**)に変わってしまった。しかも、そこに高圧電流の柵を敷いたため、ゾウが動けるルートはどんどん狭まった。
(**ボルネオゾウ**)の食事が減ってしまい、餌を求めて移動しはじめた。

これで「環境にやさしい」といえるのだろうか？ゾウにとっては「やさしい」とはいえない。**パーム油は日本にとって都合のいい「環境にやさしい」**なのではないだろうか？

[インドネシア]



建設中の港
インドネシアの玄関口、ということで大規模な港を見させていただいた。質問をしたが、環境対策はあまり考えられていない感じがうけた。



街並み
とにかく、首都ジャカルタは自動車・二輪車が多い。空気が汚れているので、みんなヘルメットやバンダナで顔を隠している。事故も多い。



荷物いっぱいの車
ルールもあってないようなところがある(あっても守られていないことも多い)荷物の上には人が乗っている。



森林破壊
木が伐採された土地は大規模なプランテーションになったり工場地になったりする。それにより生態系が変わってくることもある。



伐採された木
伐採された木パルプ工場に運ばれる木。木が使えるくらいに育つには何十年もかかる。外国に運ばれるものも多い。



絶滅の危機の種
「生物多様性保全センター」は国の機関であり、絶滅種なども丁寧に保管してあった。インドネシアは世界の20%の生動物種が生息。

6・7時限目(経済格差から生じる環境問題)

【世界はつながっている！】

レジュメ

高校2年生総合学習 LHR プリント

エビ物語

日本の食卓が左右するアジアの運命 (世界のエビの3分の1を消費する日本)

寿司のネタから始まり、エビ天ぷら、エビフライ、エビピラフ、エビグラタン、エビピラフ……。エビなしに、日本の食卓はありえない。日本はホントにエビが好きらしい。

日本人一人当たり、一年に平均80匹のエビを食べる。

世界のエビの3分の1を食べてしまう。

でもこんなにたくさんのエビ、どこでとれるか。
日本のエビの自給率は11%。

エビが食べたい!! だから……

(方法その1 トロール船)

たとえば、エビをトロール船でとる方法がある。この方法なら一度にたくさんのエビをとることができる。が、ほかの魚もいっしょにとってしまう。そしてたいていの場合、ほかの魚は捨てられてしまう。

このトロール漁法を使って国内のエビをとりまくった。しかし国内のエビはとり過ぎで少なくなってしまった。そこで今度は、アジアへ向かったが、ここでもとり過ぎでエビは激減してしまった。

エビがいなくなってしまった!!でも食べたい!!
だから……

(方法その2 エビの養殖)

海ではエビがとれにくくなってしまった。そこで注目を浴びたのが**養殖**。しかし養殖場をつくるためには、大量の mangrove の林を切り開かなければならなかった。そして大規模な養殖のために mangrove は伐採され、地域の生態系や人々の生活様式は崩壊してしまった……。

その上に……

(養殖の被害)

養殖のためには、多くの人工飼料が使われる。が、食べ残されたエサやふんなどにより**水が汚染**。最初は十分な生産をあげることができるが、数年過ぎ、池が汚染されてくると、水質の管理は難しくなり、**エビは病気を発生!!**そして死んでいってしまう。多くの場合、養殖池はつくられてから**5~10年で捨てる**という。捨てられた池はどうなるか? 跡地がどう使われているかの詳しい調査はほとんどされていないが、ほったらかしにされていることが多いという。

しかもエビを育てるためにはエサが必要。1キロのエビを育てるためには、5キロの魚を海からエサ用にとってこなければならない。私たちは**エビを食べるとき、5倍の魚を食べている!!**

レジュメ

高校2年生総合学習 LHR プリント

食卓に運ばれるエビたちは……

(地球のエネルギー問題)

食べ物を外国からの輸入に頼るなんて当たり前のことだと思っているかもしれない。だが、船や飛行機で運ばれてくるということは、それだけ**保存や輸送のためにエネルギーを消費**していることになる。養殖ではなく、直接海でとられたエビであっても、トロール船を動かすために、**エビ1トン当たり10トンの石油が必要になる**という。輸送や保存まで含めたら、もっと多くのエネルギーを使うだろう。生産者から消費者までの距離が遠くなればなるほど、それがどこで、だれによって、どうやってつくられたかについて、知ることが難しくなっていく。インド東海岸のクルー村のある住民は「**エビを食べる日本人は養殖する地域でどんな問題が起きているのか知ってほしい**」と願う。

今考えるべきこと……

(世界はつながっている)

世界はつながっている。私たちがエビをたらふく食べることが、めぐりめぐってアジアの人々の運命を左右している。先進国は圧倒的な経済力を武器に、安い単価でエビを大量に購入した。アジアのエビ養殖者は、先進国の投資に支えられているので、どんなに環境を犠牲にしても生産を続けた。先進国から借金している途上国にとって、自らの意思でやめることは不可能なのだ。

先進国はこうして**環境破壊を「輸出」**してきた。

8時限目(経済格差から生じる環境問題)

ボルネオゾウ大河を渡る

* 『AERA』2007/2/19の記事から

(写真家 横塚眞己人 文・写真)

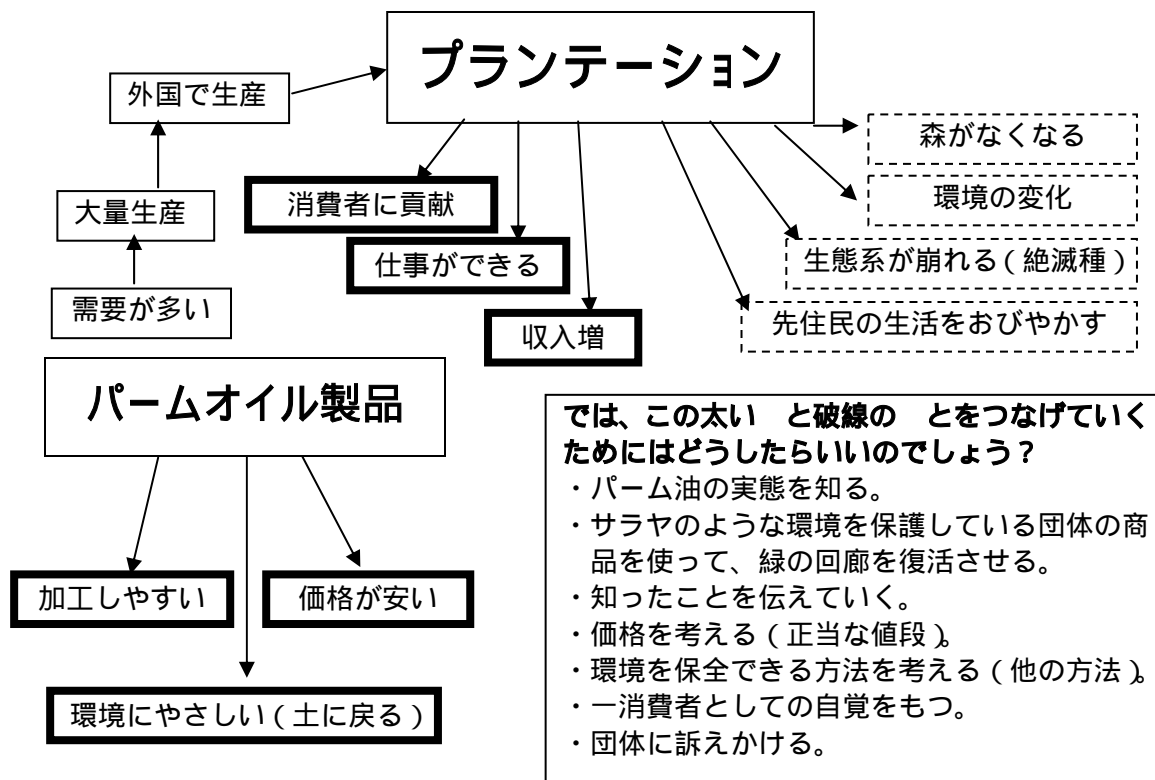
* 「ボルネオ熱帯雨林守れ - JICA など基金設立」 新聞記事から (荒川氏 事前に配布)

ワークシート

1. パーム油の問題点と良い点をあげてみましょう。(生徒配布分は、問題点、良い点、 は白紙)

問題点	良い点
・加工工場(24時間稼働)が必要 ・3000haの敷地が必要 ・先住民の生活を奪う ・子どもたちに森を残せない ・多くの生物に影響(絶滅) ・公害(土壌汚染・大気汚染) ・公害病 ・環境破壊	・仕事ができる ・外貨が稼げる・現金が増える ・安い価格で生産できる ・消費者に貢献できる ・環境にやさしいとされる(土にかえる) ・利益になる(会社・その国) ・加工しやすい(現地で加工) ・補助金

2. パーム油をめぐるサイクルをつくってみましょう。(太線の はよいこと・破線の は問題点。)



()組()番()

最後に・・・

総合学習の国際理解の中で様々な問題を学びました。貿易ゲームやパーム油の問題で学んだように、世界にはいろいろな立場の人がいます。最後にこの詩を読んでみてください。

まずしさをほっておくということは
弱いものいじめをして
こっそり奪っている
ということとおなじ
卑怯なこと

けれどそれが止まらない
なぜなら
相手が「弱い」ことを
知らない人がたくさんいる
それは「いじめ」なんだということに
気づかずほっておいている
「やめるよ」という人がいない
やめるきっかけもなかったし
やめる方法もわからなかった
情性でいまでもまだ
弱いものいじめが続いている

こっそり奪うことも止まらない
なぜなら
こっそりだから見えない
つぎに
見えていても
交換してるのかと思う人がたくさんいて
奪っているのがわからない
自分は人のためにしていると思っていても
結果奪っていることになることもある
相手の意見をよく聞いて
奪っているのか奪っていないのか
調べないといけない
自分がどう思っているのか
相手に伝えないといけない

うすうす奪っていたのかなあと思う心がある
と
相手が冷静に話し合おうといっても
怖くなる
奪っていたことを認めると
相手が怒って
とんでもないことが起こるんじゃないかと
怖くなる
なんとかいいわけを見つけて
話し合いから逃げようとする

でもこのごろ
こっそりは
あんまりこっそりじゃなくなった

一生懸命知らせようとする人がふえたから

この調子で
こっそりを減らせれば
奪う人も減っていく

まちがえちゃいけないのは
こっそりを減らすことは
悪いことではなく
いいことだということ
こっそりを減らすことが悪いことだという人がいたら
ちがうよとその場ではっきり教えてあげよう

相手はじぶんだったかもしれないと
思う想像力を働かせよう
いずれ自分の身に
ふりかかってくるとのことだという
想像力をはたらかせよう

【生徒の感想】 *総合学習を終えて

(A子さん)

私たちの生活は今昔に比べ、とても便利になりました。そしてその生活は普通で当たり前なことだと思っていました。けれど、今より上の生活を求める、この生活の裏には開発途上国の犠牲があることを知りました。私たちは食料が充分にあって、お菓子を食べることができ、学校に行けて、欲しいものが手に入って……これらを「当たり前」だと思っています。しかし、これらは開発途上国の人たちにとっては難しいことなのです。(中略)

私たちは自分たちにとって快適なものを求めるあまり、心の豊かさを失ってしまったことに気づきました。人間らしく心の豊かな開発途上国の人の方が本当の幸せを知っているのかもしれない。この学習で多くのことを学び、知ることができ本当によかったと思います。

(おうちの方から一言)

開発途上国の厳しい現状を学習し、自分たちがいかに恵まれた環境にあるかを実感できたのではないのでしょうか。気づいた今、自分たちは何ができるかを考え、行動してほしいと思います。子どもたちの輝く瞳が忘れられません (12月のクリスマス祝会で写真掲載)

(B子さん)

先進国は開発途上国や、発展の途中である新興国などのほかの国にどのような影響を与えているのか、環境の面からもわしく知ることができた。私たちの生活は今、物にあふれていて、困ることはないけれど、開発途上国には食べるものも、着るものも足りてはいない。でも、そんな中で人々は助け合いながら生きている。すごく感動した。

私は今回この総合学習で、先進国はもっと他の国のことについて理解を深めなければならないと思った。私は今のこの生活を見直していこうと思う。

(おうちの方から一言)

私達の生活が豊かになることが、かけがえのない何かを失うことにつながっている。失った代償は大きすぎて、取り返しのつかないことも多い。今、私達がそのことに気づき、間に合うあいだに一人一人が実践していかなければならないと思いました。貴重な学習ができたと思います。

3. 成果と課題

わが校では「百合学院的人間学のススメ」ということで、各学年が総合学習に取り組んでいる。(中学・高校と一貫なので6テーマある)その中で中学2年生が「環境」、高校2年生が「国際理解」であり、このインドネシアの研修が双方に活かせるのではないかと研修前から考えており、ある程度の「授業に活かす」方向性をもって臨んだのはよかったと思う。

実際の授業では、初めの「導入」である程度関心をもってもらえたことが嬉しく、励みになった。実際の「お金」や「地図」、「国旗」その他のお土産品を手にするには効果があったと思う。その国特有の「文化を示すもの」は特に興味を示してくれた。「このベール、どうやって被るの?」から始まり、HALALマークの説明をすれば「豚肉のエキスが入っていないスナック菓子はどんな味がするの?」と、特に中学生は好奇心がいっぱいだった。同時にパワーポイントで実際の写真をみせたこともよかったと思う。数ヶ月前の生の写真であり、テレビのニュースなどではない「日常」が写されていることが思いの外よかった。ただ、欲を言えばもう1時間設定し、説明を加えながらビデオを見せたかったと思う。せっかくのパハラ(地域でゴミ問題に取り組みりサイクルをすすめている、画期的な取り組みをする町)の取り組みや、インドネシアの騒然とした街並み、ストリートチルドレンでのイン

タビュー(生の声)が音として聞かせられなかったことが悔やまれる。そうすれば臨場感ももてたのではないだろうか。いずれにせよ「何かを伝える」には視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚の五感を充分活用すべきだと思った。その意味では聞いた話やインターネットの情報だけでなく、自分が実際に体験したこと、感じたことを話せたのは自分にとっても喜びであり、この研修のおかげだと思っている。

授業の展開として、貿易ゲームを含め、「他国との比較」がパワーポイントの写真を見ながらできたこともよかった。幸いなことに春にアフリカの「シエラレオネ」という、いわゆる開発途上国を訪れたこともあり、新興国であるインドネシア、先進国の日本との比較がしやすかった。特にインドネシアは東西に長く、近代的なビルが立ち並ぶ首都と田舎、バリなどのリゾート地(これは写真はなかったけれど、想像ができたみたいであった)が大きく違うことを知り、新興国の特徴をつかんでいたように思う。

最後に「アジアボランティアセンター」の荒川氏によるパーム油の授業で、生徒たちは日本などの先進国が他国(特に森林が多いアジアの新興国・ダイヤモンドの産地である開発途上国)との関わりでさまざまな問題を抱えていることに気づいた。「経済格差」がもたらすもの、表面にはあらわれない隠れた事実を知ったことは大きな意味があったように思う。それが環境問題を含め、最終的には自分たちの生活にも影響を及ぼしていることに気づき、今、自分たちが何をすべきか、何ができるかを真剣に考えてくれたらと願う。客観的な立場からさまざまな視線で物事をとらえ、考えることができる柔軟な姿勢をもつことに「総合学習」の意味があると思う。この実践が「考える」ことの第一歩になってくれていたら嬉しく思う。

最後になりますが、事前研修を含め、現地での日程や訪問先を希望を聞きながら折衝をして下さった JICA、JOCA の担当の方、研修中もアドバイスをくださり手助けして下さった先生方、そして荒川先生、本当に有難うございました。心より感謝します。

Questions to the children	
Question	Answer
Do you like your own country?	Yes No
If you answer "yes",what do you dislike about your country?	
If you answer "no",what do you like about your country?	
Express the culture of your country by some word. For example "Maraca"	
What (or who)do you think is the most important for you?	
Do you like studying?	
What subject do you like best?	
What subject do you dislike the most?	
What play do you like best?	
What do you want the most now?	
Why do you want it the most?	
Do you have something that you want to be?	Yes No
If you answer "yes",tell me about it.	
Do you know Japan?	Yes No
If you answer "yes",express your image of Japan by some words.	
Do you like yourself?	
Write your good points.	
Write what you think or know about environmental problems.	

インドネシアの子どもへのアンケート	
質問事項	回 答
自分の国は好きですか？	ア はい イ いいえ ウ 分からない
「好き」と答えた人はどんなところが好きですか？	
「いいえ」と答えた人はどんなところが好きでないのですか？	
自分の国の文化を単語で紹介してください	
一番大切にしているもの(人)を教えてください	
勉強は好きですか？	
一番好きな教科は何ですか？	
嫌いな教科は何ですか？	
一番好きな遊びは何ですか？	
いま、一番欲しいものは何ですか？	
なぜそれが欲しいのですか？	
将来、なりたいもの(職業)がありますか？	ア ある イ ない ウ わからない(まだ決めていない)
「ある」と答えた人はどんなものですか？	
インドネシアを知っていますか？	ア 知っている イ 知らない
知っている人はどんなイメージがあるか、単語で書いてください	
自分のことを好きですか？	
自分のいいところを書いてください	
環境問題に関して、思っていること、知っていることを書いてください	

資料3. インドネシアアンケート(結果)

質問事項	インドネシアの子ども(15歳)	日本の子ども(15歳)
自分の国は好きですか？	はい(88%) いいえ(12%)	はい(78%) いいえ(1%) 分からない(11%)
「好き」と答えた人はどんなところが好きですか？	生まれた国だから 美しいところ 多くの文化がある 友好的	戦争をしないところ・平和 文化 ご飯がおいしい 治安がよい 好きなことができる・自由 景色 親切な人が多い
「いいえ」と答えた人はどんなところが好きでないのですか？	雨期と乾期しかないから 汚職がある 公害がある	命を大切にしない人が多い 犯罪がある
自分の国の文化を単語で紹介してください	文化 食べもの ダンス 伝統 バリ島	和 着物 茶道 華道 演歌 畳 お米 お寿司 漫画 日本舞踊 お正月 能楽 神社 伝統 七夕
一番大切にしているもの(人)を教えてください	家族(52%) 友達(25%) 母(20%) 父(3%)	家族(40%) 友達(36%) 人(9%) 犬(5%) お金(5%) なし(3%) 愛(2%)
勉強は好きですか？	はい(97%) いいえ(3%)	はい(26%) いいえ(57%) どちらでもない(13%)
一番好きな教科は何ですか？	数学(25%) 地理(15%) 生物(15%) 歴史(12%)	体育(36%) 数学(23%) 国語(15%) 英語(12%) 音楽(6%) 理科(5%)
嫌いな教科は何ですか？	数学(23%) 歴史(22%) 英語(22%) 地理(11%)	数学(32%) 社会(25%) 理科(15%) 国語(14%) 英語(10%)
一番好きな遊びは何ですか？	フットボール(32%) バスケット(16%) ゲーム(16%) バドミントン(15%) 運転(11%)	おにごっこ(25%) ゲーム(18%) ドッチボール(15%) パソコン (9%) カラオケ(9%) テレビ (5%) サッカー(5%)
いま、一番欲しいものは何ですか？	インドネシアの発展 親孝行 スリムな体型 幸せ チェス バスケット コンピューター お金	お金 服 ドラえもん 時間 ゲーム パソコン 犬 本 アイドルのもの 学力 愛
なぜそれが欲しいのですか？	好きだから 幸せにするから	好きだから 何でも買えるから 便利だから ないから
将来、なりたいもの(職業)がありますか？	はい(98%) 無回答(2%)	ある(85%) わからない(10%) ない(5%)
具体的に何ですか？	医者 フットボール選手 ナース エンジニア アーティスト 先生 モデル パティシエ	
日本を知っていますか？ (インドネシア)	はい(100%)	はい(100%)
知っている人はどんなイメージがあるか、単語で書いてください	経済 お金 いい車 白い肌 文 化(着物・さくら・雪・漫画) スマート	暑い 貧しいが人が温かい カレー ソウ 明るい 森林伐採
自分のことを好きですか？	はい(100%)	分からない/どちらでもない(46%) きらい(34%) 好き(20%)
自分のいいところを書いてください	フットボールが上手い 親切 思 いやりがある 健康 勤勉 ハン サム スマート 分からない	明るい 前向き 社会的 素直 あきらめない 負けずらい やさしい 分からない ない
環境問題に関して、思っていること、知っていることを書いてください	真剣に取り組んでいない 無関心 逃げ腰 汚い 温暖化 犯罪 拡大	地球温暖化(70%) 自然破壊(10%) 生態系の乱れ(8%) 絶滅種(5%) ゴミ(4%) リサイクル(3%)